

平成26年度 第4回 砂川市地域公共交通会議

日時：平成26年12月19日 午後2時から

場所：砂川市役所 大会議室

出席者：

区分	所属・役職	氏名	備考
会長 (1号委員)	砂川市 副市長	角丸 誠一	
副会長 (2号委員)	北海道運輸局札幌運輸支局 首席運輸企画専門官	樋口 康弘 (代理：佐藤彰也)	随行：田中 希
3号委員	北海道空知総合振興局 地域政策課長	東 貴弘 (代理：荒井 晃)	
4号委員	北海道中央バス(株) 空知統括事務所業務係長	内海 幸夫	
	砂川北星ハイヤー(株) 常務取締役	天保 和雄	
	三星ハイヤー(株) 営業部長	梶野 恒夫	
5号委員	札幌地区バス協会 (社)北海道バス協会常務理事	今 武	
6号委員	北海道地方交通運輸産業労働組合 協議会 副議長	今 倫康 (代理：杉浦一秀)	
監事 (7号委員)	砂川市町内会連合会 副会長	高村 雄渾	
	砂川市社会福祉協議会 副会長	尾崎 隆男	
7号委員	砂川市老人クラブ連合会 会長	鈴木 日出男	
8号委員	砂川市 総務部長	湯浅 克己	
	砂川市 市民部長	高橋 豊	
	砂川市 建設部長	古木 信繁	
9号委員	北海道開発局札幌開発建設部 滝川道路事務所所長	北田 公三 (代理：片岡敏行)	
	北海道空知総合振興局 札幌建設管理部滝川出張所次長	細川 則幸	
	北海道札幌方面砂川警察署 交通課長	山本 克己	

欠席者：

4号委員	ふじ観光(株) 代表取締役	出村 省三	
------	------------------	-------	--

事務局：

区分	所属・役職	氏名
事務局長	砂川市 政策調整課長	熊崎 一弘
事務局	砂川市 政策調整課長補佐兼企画調整係長	畠山 秀樹
	砂川市 政策調整課企画調整係主任	北野 大地
	砂川市 政策調整課企画調整係主事	齊藤 恵

1. 開 会

事務局長

2. 挨拶

→会長より、会議を代表し挨拶をした。

会 長： 皆さん、ご苦労様でございます。師走に入りまして、残すところ10日余りという中で、何かとご多忙のところ、会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。今年度、4回目の会議ということでございますが、10月から実証調査運行を行なっているところでございます。この乗合タクシーの状況の報告についてが、今回のメインとなろうかと思っておりますけれども、10月の利用状況については、462人、11月については、630人と合計で1,092人の利用でございます。利用者の状況としましては、このうち70歳から80歳代の利用が953人と87.2%ほどを占めているところでありますが、男女別ではこの70歳から80歳代のうち786人が女性の利用ということで、82.4%を占めているところであります。高齢者の女性の利用が大変多いというのが、これまでの状況でございます。この2か月半ほど運行いたしまして、いろいろ問題・課題等も見えてきているところでございます。さらには、アンケート調査等を見ますと、不満という部分も書かれているのかという感じがいたします。本日は、そのようなことも踏まえまして、いろいろご意見をいただきまして、調査期間は1月末までになっておりますが、改善できる点、或いは本格運行に向けて検討していかなければならない事項等もあろうかと思っております。忌憚のないご意見等をいただきまして、取り組みを進めて参りたいと考えているところでございます。本日の会議、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 議 事

(1) 実証調査運行利用状況（中間報告）について

→事務局より、資料1に基づき説明した。

【質疑応答】

委 員： 書かれていることではありますが、予約ですね。お年寄りが多いものですから、一般のタクシーのつもりで迎えに行き、降りるころになって「乗合タクシーの利用です」というようなお客さんが非常に多いです。結局乗り合いにならない、単独になっているお客さんがいるということです。それと、ショッピングプラザ AiAi ですが、「そこまで荷物持って歩かせるのかい」というようなことで、出口のすぐそばまで来てほしいというお客さんが多い。また乗り合いで乗って、降りる時に運転手に「〇〇時に来て」と言って去って行ってしまふ、予約があつたので迎えに行ってもいない方もいる、ここにも書いてありますが、1時間前の予約が守られないなど、非常に多かったです。

会 長： 受付の際に、登録番号などを伝える仕組みとしておりますが、いかがでしょう。

委 員： この時期、受付の電話もかなり鳴るものですから、乗合の場合、番号と名前と目的地を言っただけであればいいのですが、耳の遠い方もおられ、会話がなかなかスムーズにいかないというのがあります。

事務局： ご発言のとおり状況であろうかと思っております。10月から開始しまして、1～2週間でそういうお話があつたものですから、説明をしなければならぬなど、広報すながわ等を使いまして改めて周知いたしました。今回の公共交通、やはり70歳代・80歳代・90歳代と利用される方が高齢なものですから、1回～2回の説明では理解しづらいというものもあろうかと思っております。

長い間、継続していく中では多少解決していくのではないかと思いますけれども、機会をみながら周知を続けていかなければならないとも思っております。

委員： 10月始めの時は、予約方法を守られていないケースが多かった。受付している者としては、名前・登録番号・目的地を言ってくればいいのですが、これが1人につき大分時間がかかる。あと、お年寄りなので仕方がないのですが「すぐ来てくれ」など、5~6回利用してようやく解ってきた。それから、予約を本人ではなく、別の人がかけてくる場合もある。その人に説明するのも時間がかかる。

まだまだ利用されていない方も多くいる。3か月経過しそうな今でさえ、初めての人もおり、お金を払う時に利用登録証を見せるだけで降車しようとした人もいました。慣れるまで時間はかかると思います。

会長： 高齢者の方が相手ですので、仕組みの理解には時間がかかってしまうことは否めないのでしょうけれども、やはり周知が大事であると感じます。

事務局： ご迷惑をおかけしている状況ですけれども、利用方法については、最初に市民説明会でご説明させていただき、次に利用登録証を送付する際に使い方等をもう一度周知して参りました。ご発言のとおり、それでもまだ不十分だったものですから、改めて全登録者に注意事項等を記載したものをお送りいたしました。その後は、少し良くなったというお話をお聞きしましたが、やはり初めて使う人にとっては、まだまだ十分理解されていない場合もあるでしょうし、今は使っていない人が、これから本格的な冬となり、使ってみようという人もいるでしょうから、また問題点等が出てきましたら手立てを考えながら進めさせていただければと考えております。

会長： 制度始めは、どうしてもトラブルがあったり、ご迷惑をおかけしたり、誠に申し訳ないと思っておりますが、今のところは適時状況を見ながら広報等を使って、周知徹底していくしか方法はないのかなという気がしております。

委員： 先ほどの周知の話ですが、私、いろいろな会議に出席していますが、上手くいっているところは、公民館などを使い、町内会の人を集めて何度も粘り強く説明しています。なかなか皆さん、紙だと見るのも難しいので、実際に車両などを見せながら説明すると良いと思います。

委員： 私の町内でも、老人クラブで2~3回説明はしたのですが、なかなか理解できない。1~2回実際に乗ると解ってくる。説明の際に、乗り方を見せてもらえると少しは理解できるのかなと思います。

事務局： 機会があれば、職員が行きましてご説明して参りましたし、これからも機会をいただければ説明して参りたいと思います。今お話があったように、できる限り解りやすい資料を準備しようと考えてはおりますが、どうしても文字が多くなったりするものですから、説明の仕方も簡単になるようにしていきたいと思っております。

委員： 調査運行がこれから本格運行になると思いますが、奈井江でもやっており、1日4便で、前日午後5時までの予約ということで、電話をかけてくる方も「〇〇番、名前、〇〇時、〇〇まで」といったふうに簡単・明瞭で、慣れもあるのでしょうかけれども、砂川の便数の多さにもお年寄りは迷うのかなと。減らすことで理解しやすくなるかなと思います。

会長： 奈井江さんで開始されたとき、受付の際に混乱はなかったのですか。

委員： 便数も少ないので、混乱もなく、スムーズでした。

委員： 運行も多いですし、砂川は難しいと思います。ハイヤーでやっているの、ハイヤー感覚ですぐ来るといった考えになってしまうのだと思います。ただ、これで便数を少なくすると、利用する方が不便でしようがなくなると思います。

会長： あまり便利すぎるのもということもありますが、バスへの影響もありますし、砂川は目的地も多いです。この2か月間調査運行していますが、中央バスさんは何か影響などありましたでしょうか。

委員： 市内で中央バスを利用されている方の影響はほとんどありません。バス停の宮川町や、職業訓練校前の利用がないのは、札幌へ行くにしても、おそらく砂川市立病院を境に料金が安くなるため、わざわざ職業訓練校前ではなく、市立病院前を利用しているのではないかと思います。

委員： ハイヤーの方が影響はある。北星さんが担当しているエリアのお客さんが全然入らなくなつた。1,000円くらいかかるところ、乗合タクシーだと300円で乗れるわけですから。

委員： それは、こちらと同じで、北の方のお客さんは入らなくなつた。北エリアのお客さんから「乗合で」ということもあるが、エリアが違うことを伝えたりもしました。

委員： こちらの北エリアの登録者は、もともとシステムに登録があった人がほとんどで、新しい人というのはわずかと感じています。南の方は、全然入らなくなりました。金額は空知太方面の方が高いですが、今回の中間報告で北星さんが倍の運行をしているということは、乗る人が多いということですね。バスに不便な農家の人とか、宮川町なんて600円ほどかかるところ300円ですから、それだったらバスではなく、乗合タクシーに乗ります。

会長： 大分影響があると。

委員： お互い様ですから、仕方がないことですがね。最初から予測はできていたことですし。

会長： ありがとうございます。参考にさせていただきます。ほかにございませんか。

委員： 利用方法ですが、電話口に自分で番号や便数を書き込んで使用する一覧のようなものがあれば、文章で周知するよりも良いような感じを受けました。もう一つは、6ページに曜日別の集計がありますが、火曜日、木曜日、金曜日の利用が多いのですが、何か理由があれば一つのヒントになるのかと。それと、参考資料でショッピングプラザ AiAi の停留所を変更していますが、横断歩道はありますが、信号機がないようですけれども安全性は大丈夫なのかお伺いします。

事務局： 曜日別の理由については、病院の予約や受診の多い曜日であるとかは考えられますが、なかなか把握しきれていないのが実態であります。続いて、停留所の歩行者にかかわる安全性については、左図では横断歩道のない箇所を渡るような矢印となっていますが、実際は横断歩道を

渡り乗降地側を歩くこととなりますし、この場所は人通りも多く、自動車は必ず徐行運転となる場所でもありますので、安全上は問題ないと考えております。最後に、電話口への登録番号などの表示についてですが、利用登録証を送付する際に、登録番号や時刻表を記載したものをお送りしています。A4サイズですので貼るというふうにはいかないのかもしれませんが、今後本格運行に向けては検討しながら進めて参ります。

委員： AiAi の一般タクシーのりばですが、3社が農協さんとも話し合いました、どうしても雪が降ると「タクシーのりば」というのが見えなくなる。それで、自家用車が停まってしまうので、雪が降った時点で、3社そこには停めないようにしましょう。ですから、冬は待機していないものですから、電話で受け付けて、居る場所まで迎えに行くこととなります。なおさら、乗合タクシーのお客さんも「荷物もあるし、出口まで来てよ」ということになっています。

会長： 停留所を変更するときに、タクシー会社とは打合せはしていなかったのですか。

事務局： タクシー会社さんとは、打合せしておりません。農協さんと協議いたしまして、営農資材店舗よりは近くなるということで設定いたしました。ただ、停留所の表示を「優先駐車スペース」とさせていただいて、「専用」とすると利用されるお客さまが停められなくなるものですから、そのような協議はさせていただいております。冬の一般タクシーは、待機していないとのことですが、残り1か月ほどということもありますし、周知もしておりますことから、今回はこのまま進めさせていただきたいと思っております。

会長： 現実的には、この停留所の場所で乗降されているのでしょうか。

委員： 停留所に迎えに行ってもいない場合があります、お年寄りや、出口付近で手を振って待っていたりする。大分足が不自由な人もおりますし。

あと受付に関してですが、電話が非通知の人がいます。電話番号が通知されていれば、システムに反映されるので、すぐ受付できるが、そうでないと時間がかかります。お年寄りなどは色々な電話がかかってくるので、そういう設定にしていると思いますが、受け付ける側としては、通知してもらいたい。それと、申請書に記載の電話番号と違う番号からもかかってくる。今はIP電話とかもあるし、違う番号からかかってくると登録をし直しておかないと、乗合タクシーなのか一般的なのか区別が難しくなる。

会長： どのようにできるか、検討材料にさせていただきます。後ほど、全体をとおしてご意見を伺いますので、議事を進めます。

(2) 実証調査運行利用者アンケート中間集計について

→事務局より、資料2に基づき説明した。

【質疑応答】

委員： 行きが多く、帰りの利用が少ない。12時の帰りの便がないという記載もありますし、意見を取り入れた改善が必要だと思えます。この理由を調査・ヒアリングした方が良いと思えます。

事務局： 午前中の行事等での帰りの時間、12 時くらいが必要というご意見を頂戴しているところがありますし、16 時の便が一番多いことから、これ以降の時間帯を希望している方もおられるのだらうと考えます。それから、病院の場合、行きは予約の時間が決まっておりますので、1 時間前までの予約ができますが、診療終了時間は一定ではありませんので、1 時間前の予約が間に合わず次の便まででは待ち時間が長くなり利用できないなどのご意見を頂戴しておりますので、改善できるところは検討していきたいと思えます。

委員： 病院と協力して、どうにかならないものでしょうか。

会長： 市立病院は毎日 1,000 人くらいの外来患者がおりまして、診療科目によっては終了時間が見えてこない。これは、議会でも議員さんからお話があるところですが、待ち時間が長いという問題を抱えているのが現状でございます。

ほかに、お気づきの点等はございませんでしょうか。

委員： 本格運行するとなれば、このまま小型でやるのか、もしくはジャンボでやるのか、それとも小型とジャンボを組み合わせてやるのか、お聞きしたいと思えます。

事務局： 車のサイズにつきましては、乗り合いがどれくらいになるか。多くの乗り合いとなれば、定員 3 人としている小型ではできないということになるらうかと思えます。2 か月間やってみて、1 つの便で複数台出さなければならなかったということではないものですから、小型で対応できると考えておりますけれども、これから利用が増えて複数台出さなければならぬ状況となりましたら、運行事業者さんにもご迷惑をおかけすることになると思えますので、ジャンボを検討しなければならぬと。今のところは、小型で対応できるのではないかと考えております。

会長： 多く予約があった時のみ、ジャンボを出すということは可能でしょうか。

委員： なかなか難しいです。ジャンボを使うのであれば、きちんと流れを組んでやるのですが、その他の事業を受け持っていたりもするので、急にジャンボを出すというのは難しいと思えます。あらかじめ、この時間とこの時間はジャンボですよということであれば、組み方を変えることもできるのかもしれないけれども。

会長： 利用者の波があるものですから、複数の乗り合いが増えてくればということになりますが、境界線が難しいところでもあります。小型より、バスの方が良いという声もありますが、かかる経費の面もあります。ご意見として検討させていただきます。

ほかに、ございませんか。なければ、進みます。

3・その他

・今後のスケジュール

→事務局より、資料 3 に基づき説明した。

【質疑応答】

なし

5. 閉 会

会 長